



ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第379号

新年あけましておめでとうございます。 信徒会長 田中拓

昨年1年間をまず振り返ると、やはり李神父様のことが思い出されます。若い神父様が来られ、子供たちを大切に作る姿に私たちも促され、教会学校のキャンプには大勢の参加をいただきました。クリスマスも新しいアイデアをお考えのようでしたが、それを実現することはできませんでした。

しかしながら、李神父様が亡くなられてから、ほとんど時間がなく十分な準備ができないながら小教区祭をみんなの力で開催し、成功のうちに終えることができました。また、神父様がおられない中でも聖書勉強会やクリストフォールなどの教会活動を信徒の力で継続してくることができました。わたしたち水巻小教区の底力を再確認することのできた1年でもありました。

今、教会にも子供たちの姿が増えてきました。また、昨年の降誕祭には新しい信徒を迎えることができました。やはり信徒を増やしていくことが教会の活力になると思います。身近なところから、信徒を増やす努力、宣教活動を広げていきたいと思ひます。侍者を務める、お花を生ける、掃除をする、小教区委員になる、このような取り組みに参加することにより、みんなが来やすい教会をつくることもりっぱな宣教活動だと思ひます。まず、

ミサに預かるだけでなく、なにか1つでも教会活動に手を出していただきたいと思ひます。そこから少しずつ外に向かって働きかけることにも目を向けていければと思ひます。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録されました。また今年には「福者ディエゴ加賀山隼人の殉教400周年」を迎えます。郷土の殉教者の生き様を知ることにより、私たちの信仰を見つめ直すことができると思ひます。殉教という道を選んだことにだけ目を向けるのではなく、それまでに信仰を広げるためにどのような活動をしてきたのか、周りの人達のどのような支えがあったのかを知ること大切だと思ひます。私たちが、外に向かって働きかけることの学びを得ることができればと思ひます。

わたしたちが、聖霊の導きにより、信仰の喜びを伝えていくことができますように。

| | |
|------------------------|----|
| 新年あけましておめでとうございます・・・ | 2面 |
| 黙想会・・・・・・・・・・・・・・・・ | 3面 |
| 委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・ | 4面 |
| 外国人技能実習生の問題・・・・・・・・ | 5面 |
| 教会学校より・・・・・・・・・・・・・・・・ | 6面 |
| 幼稚園から・・・・・・・・・・・・・・・・ | 7面 |
| お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 8面 |



新年、あけまして、おめでとうございます

青木神父



1月1日は、神の母聖マリアの祭日です。この日は、元旦だからマリアさまのお祝いの日ということではありません。12月25日にイエス様がお生まれになり、八日目にあたる祝いの日ということに由来する祭日です。ユダヤの世界では、男子は生まれて八日目に割礼を施すという習慣がありました。また、その日、子どもに名前をつけることもしていました。以前はこの日は、「イエスのみ名の祭日」とも言われていました。

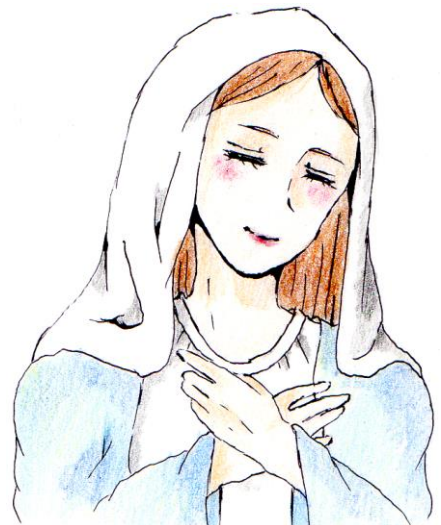
名を付け、割礼を施すということは、ある意味、ユダヤ人として誕生するということでの、神の民の一員としての誕生日ということでもあったのです。この日は、イエス様という名前が与えられた日です。「イエス」とは、旧約のヨシュアという言葉と同じです。「神は救う、救う者」という意味があります。いわば、その日は、救い主としての誕生という深い意味を持つ日とも言えます。

ローマ時代の習慣からきたイエスの誕生日の日付ですが、一月一日が救い主の誕生としての祝い日ということは意味深いことではないでしょうか。

また、この日、マリア様は救い主イエス様をお生みになった方として、神の母と言われます。神の母の祝い日は、イエス様が神の子であり、人の子としてお生まれになったことを教えている祝い日でもあります。神の子であり、人の子であるから、初めて救いを実現する方となられたということです。神の母を祝うことは、イエスが救い主であり、救い主として誕生されたことを祝うということです。

神の母聖マリアのミサの第一朗読で、旧約の祝福の言葉が読まれます。祝福の言葉です。この祝福は、イエス様によってもたらされました。そのイエス様はマリア様を通してお生まれになりました。

新しい1年、この祝福が、神の母マリア様の取次によって、救い主イエス様から豊かにありますように。



黙想会 テーマ：喜びに喜べ

真福八端を山上の垂訓を中心に

山口 一隆

「御降誕祭」を約二週間後にひかえた12月9日、ミサ後黙想会が行われました。講師は青木神父様、テーマは「喜びに喜べ」。参加者は50人でした。

テーマとなった「喜びに喜べ」は、今年教皇フランシスコが著した「使徒的勧告・喜びに喜べ」；副題「現代世界における聖性」からとられています。青木神父様は、このパパ様の著書から第三章の「師なるかたに照らされて」を解説して下さいました。

中身について紹介すると、イエス様が行った山上の垂訓の内、八つの重要な教えをかみ砕いて説明しています。

八つの教え（神学的には真福八端というそうです）は皆さんもよくご存じだと思います。

「心の貧しいものは幸いである。天国はその人たちのものである」

「柔和な人は幸いである。その人たちは地を受けつぐ」

「悲しむ人々は幸いである、その人たちは慰められる」

「義に飢え渴く人は幸いである、その人たちは満たされる」

「哀れみ深い人々は幸いである、その人たちはあわれみを受ける」

「心の清い人は幸いである、その人たちは神を見る」

「平和を実現する人々は幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる」

「義のために迫害される人々は幸いである、天国はその人たちのものである」

著書ではこの八つの教えを日常生活の中でどうとらえ、実践していくかを示しています。時間的な制約もあって、勧告のすべてを紹介する事は、いくら青木神父様でも無理です。著書を読まれる事を勧めます。



外国からの仲間にうれしい悲鳴



1年前、からしだねに、ベトナム人青年のクォンさんの当教会への参加を伝えました。それに加えて、今年の8月頃から彼の友人となった、ベトナム人のホアンさんが、ミサに来られています。しかも、2人は侍者奉仕をしてよいとおっしゃっておられるそうです。ほぼ時を同じくして、韓国人青年の金成根（キム・ソングン）さんが来られました。こちらは1ヶ月前から、聖歌隊に入って頂いています。

この原稿を書き終えたところで、また新たなベトナム人青年がミサに参加されていました。お名前をお聞きしたところ、ツ・ドック・マンさんだそうです。

委員会等報告 2018年12月分

11月度小教区委員会 11月4日

1. 行事予定

- ・1月1日(火) 元旦ミサ 10:00～
司式：ペリオン神父
成人のお祝い、車の祝別、新年茶話会
- ・1月13日(日) 小教区委員会
- ・1月19日(土) 役員会
- ・1月20日(日) 神学生送別会
- ・2月3日(日) 小教区委員会

2. 議題

(1)各委員会報告

①広報委員会より

からしだねのアンケート実施。

ご協力ありがとうございました。集計結果をもとに誌面構成の参考にします。

②納骨堂委員より

納骨堂の永代供養料、奉安室2室の返還。

永代供養料返還の際は維持費未納分と相殺する。12月中に精算完了予定。

③クリストフォールより

神父様不在の時は聖体を運ぶことはできませんが、病人訪問を実施することとします。2月は神父様も訪問できる予定です。神父様不在時は信徒運転で訪問することになるのでガソリン代を補助することとする。

(2)予算(案)

2019年度の予算案を提示し、承認された。1月に教区に予算案を報告する。

(3)その他

①ペリオン神父へのミサ謝礼について

青木神父様が多忙につき、月に1～2回ペリオン神父様に日曜日のミサ司式をお願いする。謝礼は1日10,000円とする。ペリオン神父様には聖書100週間の指導もお願いする。(2月以降)

②監視カメラ設置

水巻聖母幼稚園より監視カメラを設置したいとの要望があった。安全確保が目的であり教会として同意する。なお、カメラ設置位置など、特に教会から要望する事項はない。

③レッドキャベツ跡地について

水巻聖母幼稚園より、「レッドキャベツ跡地をタダで借用することができる。教会が必要とするなら借用手続きは聖母幼稚園側で進めてもよい。」との提案をいただいた。宗教法人に貸し出すと地主の税金が免除になるなど、地主にもメリットがあるとのこと。

教会としては駐車場は間に合っており、借用した場合、管理責任を負うことも考えられるので、とりあえずお断りする。降誕祭の時は、松本クリニックの駐車場を借用することとする。

④泣き部屋のおもちゃ用意

泣き部屋にぬいぐるみ等の音のしないおもちゃがあると母親も助かる。信徒に寄付を呼びかけることとする。

⑤神学生送別会

1月20日(日)に送別会を行う。食事およびプレゼント準備は教会学校にお願いする。

外国人技能実習生の課題について No.1

長崎教会管区技能実習生対応担当 岩本光弘

秋の国会に外国人人材受け入れの法案が審議されました。私達の小教区にも新しい外国籍信徒の姿をよく見るようになりました。九州では想像できませんが、すでに外国人信徒が過半数を越えた小教区は北関東から関西までの間には沢山あります。

カトリック難民移住移動者委員会は、今までも様々な活動をしてきましたが、近年急激に増加している外国人信徒対策を進めるために9月に京都でワークショップを行い、2019年から3年間に実施する具体的な行動計画を立案しました。

今後は課題毎に具体的な対策と行動を行うことになりましたが、全国の小教区全てで外国人信徒について関心を持ってもらい、日本の教会を多文化共生のカトリック教会にするため、課題別に各地へ講師を派遣することになりました。私は技能実習生の支援活動を10年以上していることから、委員会から要請されワークショップの段階から討論に参加しました。

そのため私は、今後の具体的な活動で技能実習生問題の派遣講師を務めることになりました。来年から派遣を要請された各地で話すこととなりますが、まず自分の教会の人達にも知ってもらうために簡単な解説を行うことにします。

今回の国会に出された不完全な法案の討論で改めてはっきりしたのは日本政府＝自民党の外国人政策の根本的な問題点です。日本で外国人労働者が必要になったのは1990年頃からです。その頃大量のオーバーステイの外国人がいました。最大にいた頃は40万人に届くほどでした。政府はこの人達を日本から追い出すことに全力を挙げました。しかし、横浜や川崎で活動を続けている友人はフィリピン人のオーバーステイの人達は「横浜のベイブリッジの塗装は俺達がやったんだ」と言っているそうです。そのくらいバブルの時期の産業の底辺を外国人労働者が支えてきたということです。

一方で不足する労働力を補うために100年前から各国へ送り出した移民の人達の三世までを無条件で入国させることになりました。そのため中南米から大量の日系人が日本に入国してきました。この時に起こったのが大量の外国人が集住することによる地域住民とのトラブルでした。ゴミの問題や騒音など日本社会では住民が自発的に守ってきたことへの無知から地域住民とのトラブルになりました。日系人の場合家族での入国も多かったので子どもの学校の問題も多数ありました。来日してきた外国人児童の学校問題は今も有ります。

その一方で、開発途上国への技術移転を目的に研修生・実習生制度を作って若い外国人労働者を入国させました。この人達は日系人と違って認可された業種だけに限って受け入れられますので、転職の自由がありません。26万人にも増えた技能実習生制度に問題がありながら、この制度の延長のような今回の外国人人材拡大法案は、野党だけでなくマスコミもこの制度は駄目だと言う論評をしています。最初に研修生を受け入れた雇用主は、外国人の賃金は安いことが当たり前だと言う考えの人も沢山いました。その人達の考え方の底辺には開発途上国の人たちへの蔑視と差別意識が無かったとは言えません。この制度を推進する人達が、問題から目をそらすのを見ると、彼らの考え方に排他性や差別意識が無いとは言えません。

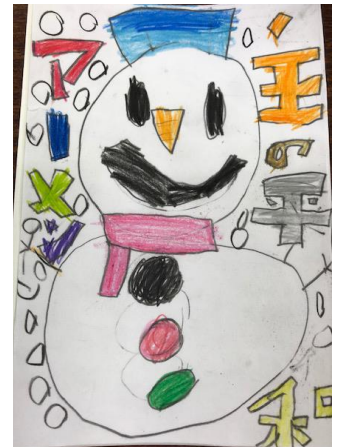
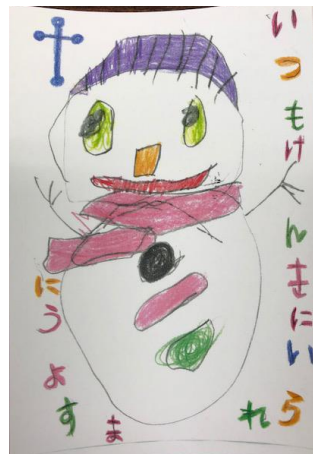


教会学校のページ



教会学校では毎年、待降節の時期に高齢者の方々へ、子どもたちが作成したクリスマスカードを郵送しています。

今年もその季節を迎え、蓮くん、樹祈くん、友祈ちゃんが一生懸命、準備してとても素敵なカードができました。水巻教会で長い間続けているこの活動が、教会に来ることが困難な高齢者の方にとりまして、少しでも喜びとなり教会との繋がりを実感することができますように。そして主のご降誕のお恵みを届けることができますように。



12月9日

ミサ後子どもたちのクリスマス会をしました。皆で楽しく皆で昼食を頂きました。

二学期の教会学校も終了となります。三人の子どもさん達は、今学期ほぼ100%の出席率。侍者としても毎週奉仕して教会の大きな力となってくれました。本当にありがとうございました。ご家族の皆様のご協力にも感謝いたします。



青木神父様より赦しの秘跡も受けることができました。みんな明るく元気にイエス様のご誕生をお祝いしましょう！そして来年もみんなの新しい成長を教会学校は楽しみにしています。



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 1月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

<水巻聖母幼稚園>

昨年の12月8日は、クリスマス生活発表会を行いました。青木悟神父様にもご来園いただき、保護者の皆様にお話して頂きました。

第一部は、年長A組による『聖劇』、第二部はクリスマスお祝い会。劇や日本の遊びについての発表を行いました。第三部は歌のプレゼント。英語の歌や合唱を披露いたしました。子ども達一人ひとりが、イエス様のご誕生をお祝いする気持ちで発表できた一日でした。

【ビニール凧を作ろう!】

- ・日 時：1月10日(木)
 - ・場 所：水巻聖母幼稚園 2階ホール
- 未就園児のお友達、お待ちしております。

準備の都合上、事前にお電話を頂けると幸いです。



【もちつき】

- ・日 時：1月12日(土)
 - ・場 所：水巻聖母幼稚園 園庭
- (雨天決行：幼稚園テラス)

TEL：093 201 9559

e-mail: contactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>

11月28日に、夏に種から植えた野菜の収穫をしました。子ども達が太根や牛蒡の葉っぱを引っ張り、保育士も手伝って、深く入っていた根を引き抜きました。太根や牛蒡の匂いがしました。人参は、一人一本ずつ引き抜きました。小さかったり大きかったり、形も様々で、驚きがいっぱいでした。

本年も「神様の愛」を感じられる毎日でありますように。



TEL：050 5212 7759 HP：水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長シスター松川明子・職員一同



★特別献金★

12月2日 宣教地召命推進の日献金
29,000円
ご協力、ありがとうございました。

★福岡教区被災者支援募金★

52,124円
小教区祭のバザー等の収益金を募金します。ご協力、ありがとうございました。

★宮崎神学生 送別会★

日時：1月20日(日)
宮崎神学生の司牧実習が1月20日で終わります。この日のミサ後に送別会を計画しています。

★元旦ミサ★

1月1日(火) 午前10時 元旦ミサ
成人のお祝い、車の祝別、新年茶話会があります。
なお、毎年行っていたホーリーアワーと深夜ミサはありません。

【洗礼】おめでとう！

◇ルカ 金 成根(キム ソングン)さん
(吉田地区)
◇テレジア 福嶋 東三子さん
(遠賀地区)

からしだね アンケート結果について

「からしだね」のこれからを考えるアンケートへの回答を寄せられた読者に感謝します。現在までに寄せられたアンケートは総数46、男女比は男性15に対し女性が31と女性優位の回答でした。

年齢構成では、71～80歳が最も多く、回答者の三分の一にあたる15でした。次に多かったのが61～70歳の11(23.9%)、次いで51～60歳の6(13.0%)、81歳以上の5(10.9%)と続きました。ここでお詫びしなければならないのが41～50歳の項目を漏らしたことです。アンケートに協力してくださった方々か、その項目を補ってくださいました。3(6.5%)の回答がありました。ありがとうございました。以下31～40歳が2(4.3%)、うれしいことに10～20歳も同数の2、21～30歳の回答は1でした。

やはり、少子高齢の結果が出たのでしょうか。速報ですが、結果の一部を掲載しました。